

# J A R L 茨城県支部 平成28年度非常通信訓練実施要領

日 時 2016年9月1日(木) 20:00～21:30 (目安) J S T

目 的 県内情報収集訓練・受発信訓練

対 象 J A R L 茨城県支部登録クラブ中心にクラブ外の局も参加自由とする。

方 法

## (1) 情報集約方法

3段階構成とし、第1段階はクラブ段階での通報収集、第2段階はクラブ段階情報の地区集約、第三段階は地区集約情報の中央集約。

## (2) 記録用紙

送受信記録は所定の用紙を使用。用意のない場合は自由とするが、通信項目はできるだけこれに沿うようにする。受信側が用紙をもっていれば、送信項目を誘導する。

## (3) 通報内容

短時間で終わらせるため、通報内容は簡潔にする。

第1段階

⇒

第2段階

⇒

第3段階

クラブ段階集約 参加局→クラブセンター 自局情報 (名前・運用地・ 設備) 避難所情報 (名称・場所)
---

地区段階集約 クラブセンター→ 地区センター クラブ参加状況・自局情報
--

県段階集約 地区センター→ 県センター クラブ参加状況・自局情報
---

## 第1段階 20:00～20:50 (目安) クラブ段階の情報収集

145.28/433.28 (±) FM を使用。

クラブごとにセンター (役) を置き、通常使用している連絡周波数で情報集約。

参加局は自宅/移動先で運用。クラブがない時はグループ名をつけ「〇〇グループ」と呼称。以下、「クラブ」と総称する。

訓練参加希望局でセンターがない場合は近隣クラブと共同で可とする。

通報内容 (呼出・応答はコールサイン使用)

**[自分の名前・運用地・使用空中線・出力電力・使用電源・自局 (運用地) 近くの避難所名]。 (自分の名前・運用地・避難所名の読みは和文通話表で説明)**

注1: 自局 (運用地) 近くの避難所は市町村のHPに公表されており、実際に赴いて運用が望ましいが、自宅等で最寄り避難所情報を利用してよい。

注2: 運用地は 〇〇市〇〇 (町) ・ [町制地区では] 〇〇町〇〇 まで。

あまり細かい地名までは不要という意味で、厳密に考えない。

注3：通話表を使うのは、固有名詞部分「〇〇小学校」なら〇〇部分のみ。  
この時間帯に、地区センターと県センターと伝播テスト・ルート作りをする。  
(中継の必要ルート確認。)

**第2段階** 20:50～21:10 (目安) 8地区 (県北1・県北2・県央1・県央2・県南1・  
県南2・鹿行・県西) 単位の集約、県内共通周波数は隣接地区で混信を起こすため  
地区ごとに別途定める。

(茨城県支部地区割表) 145.28/ 433.28 (±) FM を使用。

地区ごとにセンター(役)を置き、クラブセンターから情報を集約する。

地区センター(役)は地区在住の支部役員が担当を原則とするが、事情により訓練に  
参加できない場合は、地域内で代行者が担当する。地域内でセンター役が不在の場  
合は近隣の地区で代行する。(地区センター役は事前に各地区で相談して選任が望  
ましい。要は臨機応変に対応。)

通報内容

[名前・クラブ名・運用地：市町名・使用空中線・出力電力・使用電源・訓練参加  
局数] (「非常通信訓練報告書(クラブセンター)、同(地区センター)」参照)。

**第3段階** 21:10～21:30 (目安) 県単位の集約、

145.28/ 433.28 (±) FM を使用。

地区センターは地区内参加クラブの参加状況が集約でき次第 [自分の名前・運用  
地：地区名・使用空中線・出力電力・使用電源・参加クラブ数・参加局数] を県  
庁局へ通報する。直接交信不可の場合は中継依頼。

(「非常通信訓練報告書(地区センター)、同(県センター・中継局)」参照)。

### (3) 報告・事後処理

クラブセンター局および地区センター局・中継局は、所定の報告書を E-mail または郵  
送で非常通信幹事 JH1TUJ (jh1tuj@jarl.com) 宛に送る。

### (4) その他

○各バンド周波数は、他局の理解を得られない時や、混信などで使えない場合は、  
上下へ移動する。

○通報内容は、あまり長くならない範囲で上記項目に追加も可とする。

○各段階の時間割は目安で、短縮・延長・重複が想定される。通信制御・整理も訓練。

以上